

## 新規採用・削除医薬品等通知

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	スチバーガ錠 40mg	劇
(英名)	Stivarga	
(規格・含有量)	1錠中, レゴラフェニブ 40mg(レゴラフェニブ水和物として 41.49mg)	
(一般名)	レゴラフェニブ	
(メーカー名)	バイエル薬品株式会社	
【薬価収載日】	2013年5月	
【薬価】	5579.30円	
【薬効コード】	874291	
【薬効分類名】	抗悪性腫瘍剤/キナーゼ阻害剤	
効能・効果	治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌, がん化学療法後に増悪した消化管間質腫瘍, がん化学療法後に増悪した切除不能な肝細胞癌	
用法・用量	通常, 成人にはレゴラフェニブとして1日1回160mgを食後に3週間連日経口投与し, その後1週間休薬する. これを1サイクルとして投与を繰り返す. なお, 患者の状態により適宜減量する.	
禁忌	(1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 (2) 妊婦又は妊娠している可能性のある女性	
相互作用	<b>本剤作用減弱</b> CYP3A4 誘導薬(リファンピシン等) <b>本剤作用増強</b> CYP3A4 阻害薬(ケトコナゾール等) <b>他剤作用増強</b> イリノテカン, BCRP の基質となる薬剤(ロスバスタチン等)	
副作用	<b>重大な副作用</b> 手足症候群, 中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN), 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群), 多形紅斑, 劇症肝炎, 肝不全, 肝機能障害, 黄疸, 出血, 間質性肺疾患, 血栓塞栓症, 高血圧, 高血圧クリーゼ, 可逆性後白質脳症, 消化管穿孔, 消化管瘻, 血小板減少, <b>その他</b> 下痢, 食欲減退, 口内炎, 悪心, 発声障害, 発疹, 疲労, 疼痛, 無力症, 体重減少, 粘膜炎	

(薬品名)	ナルラピド錠 1mg/2mg	劇 麻
(英名)	NARURAPID TABLETS	
(規格・含有量)	1錠中、ヒドロモルフォン塩酸塩 1.1mg(ヒドロモルフォンとして 1 mg)/ヒドロモルフォン塩酸塩 2.3mg(ヒドロモルフォンとして 2mg)	
(一般名)	ヒドロモルフォン	
(メーカー名)	第一三共株式会社	
【薬価収載日】	2017年5月	
【薬価】	1mg:110.60円/2mg:202.80円	
【薬効コード】	878119	
【薬効分類名】	癌疼痛治療剤	
効能・効果	中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛	
用法・用量	通常、成人にはヒドロモルフォンとして1日4～24mgを4～6回に分割経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。	
禁忌	1.重篤な呼吸抑制のある患者[呼吸抑制を増強する。] 2.気管支喘息発作中の患者[気道分泌を妨げる。] 3.慢性肺疾患に続発する心不全の患者[呼吸抑制や循環不全を増強する。] 4.痙攣状態(てんかん重積症、破傷風、ストリキニーネ中毒)にある患者[脊髄の刺激効果があらわれる。] 5.麻痺性イレウスの患者[消化管運動を抑制する。] 6.急性アルコール中毒の患者[呼吸抑制を増強する。] 7.本剤の成分及びアヘンアルカロイドに対し過敏症の患者 8.出血性大腸炎の患者[腸管出血性大腸菌(O157等)や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢のある患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。]	
相互作用	<b>本剤他剤作用増強</b> 中枢神経抑制剤(フェノチアジン誘導体、バルビツール酸誘導体等)、吸入麻酔剤、MAO阻害剤、三環系抗うつ剤、β遮断剤、アルコール、 <b>他剤作用増強</b> クマリン系抗凝血剤(ワルファリン)、抗コリン作用を有する薬剤 <b>本剤作用減弱</b> ブプレノルフィン、ペンタゾシン等	
副作用	<b>重大な副作用</b> 依存性、呼吸抑制、意識障害、イレウス(麻痺性イレウスを含む)、中毒性巨大結腸 <b>その他</b> 傾眠、悪心嘔吐、便秘	

(薬品名)	ルパフィン錠 10mg	市販直後調査 2017年11月～2018年5月
(英名)	RUPAFIN Tablets	
(規格・含有量)	1錠中、ルパタジンフマル酸塩 12.8mg(ルパタジンとして 10mg)	
(一般名)	ルパタジンフマル酸塩	
(メーカー名)	田辺三菱製薬株式会社	
【薬価収載日】	2017年11月	
【薬価】	69.40円	
【薬効コード】	87449	
【薬効分類名】	アレルギー性疾患治療剤	
効能・効果	アレルギー性鼻炎 蕁麻疹 皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	
用法・用量	通常、12歳以上の小児及び成人にはルパタジンとして1回10mgを1日1回経口投与する。 なお、症状に応じて、ルパタジンとして1回20mgに増量できる。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症のある患者	
相互作用	<b>本剤作用増強</b> CYP3A4阻害剤(エリスロマイシン、ケトコナゾール等)、グレープフルーツジュース、アルコール	
副作用	<b>重大な副作用</b> ショック、アナフィラキシー、てんかん、痙攣、肝機能障害、黄疸 <b>その他</b> 眠気	

## 後発医薬品採用通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
<p>●<u>3月1日より</u></p> <p>トリメブチンマレイン酸塩錠 100mg「日医工」</p>	<p>セレキノン錠 100mg</p>

## 削除医薬品通知

<p>●<u>3月1日より</u></p> <p>デュロテップ MT パッチ 2.1mg/4.2mg</p> <p>デルマクリン A 軟膏</p> <p>ゾフランザイディス 4</p>	<p>3/1 削除</p> <p>3/1 削除</p> <p>3/1 削除</p>
--	---

## 医薬品剤形変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
<p>●<u>3月1日より</u></p> <p>ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%（バッグ）</p> <p>エクセラージェ配合錠</p>	<p>ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%</p> <p>エクセラージェ配合 cap</p>

## 適応追加通知

<p>ハーボニー配合錠</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>セログループ1(ジェノタイプ1)又はセログループ2(ジェノタイプ2)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善</p> <p>【用法・用量】</p> <p>(略)</p>
<p>献血ヴェノグロブリン IH5%静注 0.5g/10mL</p> <p>献血ヴェノグロブリン IH5%静注 2.5g/50mL</p> <p>献血ヴェノグロブリン IH5%静注 5g/100mL</p> <p>献血ヴェノグロブリン IH5%静注 10g/200mL</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認められた場合)</p> <p>*その他は省略</p> <p>【用法・用量】</p> <p>慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の運動機能低下の進行抑制(筋力低下の改善が認められた場合): 通常、人免疫グロブリンGとして「1,000mg(20mL)/kg体重を1日」又は「500mg(10mL)/kg体重を2日間連日」を3週間隔で点滴静注する。</p> <p>*その他は省略</p>